

はまだ

HAMADA SHIGIKAI DAYORI

市議会 だより

2006年(平成18年)11月1日発行
はまだ市議会だより Vol. 4

主な内容 頁

定例市議会のあらまし	2
議会改革検討委員会	3
一般質問	4
委員会審査結果一覧	8

島根あさひ社会復帰促進センター完成予想図



議長直行メールを開設しました

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。

必ず議長自ら目を通して回答させていただきます。(住所・氏名を明記の上送信ください)

E-mailアドレス : chairman@city.hamada.shimane.jp

牛尾昭議長（右から2人目）に答申する
吉田千昭委員長（左から2人目）

運営のあり方が問われる中、市民の負託に的確に応えることを目指すとともに議会の活性化を図るために、議長の諮問機関として議会改革検討委員会が今年6月定例市議会において設置され、6月19日に議長から当委員会に6項目が諮問されました。

そうした中で、5回の委員会が開催され、9月22日に次の3項目を第1回目の答申とされました。

今後も委員会において方針が決定され次第、その都度議長に答申し、議会運営委員会などに諮り改革を進めて参ります。

③ 本会議等の議事録について
は、インターネットによる閲覧及び検索が可能であり、必要な部分のプリントアウトによる対応が可能なことから、経費節減の観点から冊子印刷を廃止し、コンパクトディスク化により配布を平成19年度から実施された。

議会だよりの充実の一環として、視覚に障害のある方へは音声変換による対応を実施されたい。また財政事情を勘案し、今後予算増を伴わないよう議会情報を市民に的確に伝えるように配達方法・搭載紙面の構成等について工夫されたい。

② ③ 《議会費予算の適正化に関すること》
講師は東京大学名誉教授の大森彌氏が「分権改革と地方議会」と題して講演され、議員には職務専念義務はないが議会改革を進めうえで議員は政策立案に積極的に参加すること、また政務調査費の使途の明確化等行財政改革に向け将来像を見据えることの必要性を

【議会改革検討委員会 第1回答申】

① 答申項目として
② ③ 《議会運営のあり方に関すること》

議員研修会の開催

力説されました。

8月31日には中国電力株式会社三隅火力発電所を議員30名により視察しました。

住民自身の合議体である議会が自主性・自立性を發揮してはじめ「地方自治の本旨」は実現するもので、そのため議会及び議員としての活動の指向性を示すと共に、新たな発想と感覚が求められており、議会の活性化に向けてより研鑽を積むことを目的に、島根県市議会議長会議員研修会が平成18年7月26日に出雲市において開催され当市議会から34名の議員が参加しました。

また、2号機の増設については、現在の計画では平成26年に着工し、平成29年の運転開始予定で、燃料は環境に配慮して石炭をガス化して使用する計画となっています。

講師は東京大学名誉教授の大森彌氏が「分権改革と地方議会」と題して講演され、議員には職務専念義務はないが議会改革を進めるうえで議員は政策立案に積極的に参加すること、また政務調査費の使途の明確化等行財政改革に向け将来像を見据えることの必要性を

今回この研修及び視察において得たことを議員一同市政に十分反映させ、浜田市の発展と住民福祉の向上に努力を傾注して参ります。



島根県市議会議長会議員研修状況



中国電力(株)三隅火力発電所視察状況

議会を傍聴しませんか

はまだ市議会だより

平成18年11月1日発行

- ① 急激に増えた「ナラ」の立枯れ現象についての認識、調査結果、対策について問う。
- ② 地域材供給に備えて人工林の実態把握とその対策は。
- ③ 人工林整備に浜田市独自の支援策と、弥栄自治区事業を全市に拡大する考え方を問う。
- ④ 地域材利用促進、定住策に住宅建設の市の助成策は。

- 答弁
- ① 原因は、憂慮すべき「力シノナガキクイ虫」に因るもので、確立された防除策はなく国県の施策を注視したい。
- ② 浜田市の森林面積の26%が人工林になつていて、精度の低い森林簿に頼つていて。今後森林組合の調査事業を支援していきたい。
- ③ 19年度より弥栄自治区事業を全市に拡大していきたい。
- ④ 現在、煙材の利用促進を図っている所であるが今後的主要課題としたい。

森林と林業の
振興策について

小川泰昭議員

質問

- 答弁
- 「岐阜県庁で、17億円もの裏金が発覚、主に職員の飲食代や組合の活動経費に使われ処理に困つて現金を焼却した」という報道が全国を駆け巡り、常識を逸脱した公務員の倫理観の崩壊が、国民を徒労感と開いた口が塞がらない状態におとしいれ、公務員への視線は一段と厳しくなつてている。浜田市では裏金の恐れはないのか。

- 答弁
- また新たなチェックと「抜き打ち監査」の体制を構築すべきではないか。

職員の守秘義務と
情報公開について

渋谷幹雄議員

質問

- 答弁
- ① 総合振興計画について
② 第三セクターの経営改善と第三者評価について

社会基盤整備とその
活用の取り組みについて

川神裕司議員

質問

- 答弁
- ① 重要な社会基盤である浜田港に海上自衛隊護衛艦等の定期寄港を促進することは経済活性化の観点からも積極的に取り組むべき施策であると考える。さらに商工会議所や防衛協会等の機関と連携しながら海上自衛隊関係部署にアプローチする事が有効と思うが市長の所見を問う。
- ② 仮に護衛艦クラスの船が入港・停泊した場合、浜田市にとってどの程度の経済効果が予想されるかを問う。

- 答弁
- ① 全員協議会において方針を述べる他、ホームページや冊子にて示していく。
- ② ハード面ソフト面等においても格差が生じており、これら的是正に努める。
- ③ 英語教育の必要性と必修化に向けて、条件整備に努めること。

教育行政について

湯浅勝議員

質問

- 答弁
- ① 学力調査結果について
② 竹島問題について、教材と教育現場の実態について
③ 図書館建設と陸上競技場の整備計画について

地域協議会の
育成強化について

角田勝幸議員

質問

- 答弁
- ① 職員の地域担当制は、現在旭、三隅自治区で実施されており、残る浜田、金城自治区でも早急に実施出来るよう検討していきたい。
- 又定住対策課設置についても、貴重な提言として検討していきたい。

質問
心に病み自殺する人たちへの取り組みについて
その他の質問
子育て支援について

三浦美穂議員

木村まさ行き議員

西田清久議員

江角敏和議員

佐々木豊治議員

質問
昨年全国で自殺者は3万2325人と8年連続で3万人をこえた。島根県では230人もの人が亡くなっている。WHO（世界保健機関）は「自殺は、その大半が防ぐことができる社会的な問題」としている。6月には「自殺対策基本法」が成立した。当市における予防、相談、遺族へのケア等の関連団体はどのように活動をしているのか、学校では自殺予防教育をどのように実施されているのか問う。

答弁

浜田圏域自殺予防対策連絡会に参画し予防対策、相談体制などの推進を図っている。各学校では道徳、人権教育などで「命の大切さ」「どんなことがあっても、死んではいけない」ということを強く教えている。

その他の質問
子育て支援について

子ども達一人一人の「人格の完成」をめざすこれまでの教育から、「国策に従う人間」造りへと、教育の根本目的が転換されようとしている。

① 日本の民主的国家形成は、現憲法と教育基本法の役割が大きいが、基本法への所見と今後の教育方針を問う。

② 基本法のどこが問題で改定なのか。国を愛する態度などの「徳目」を法規定することについての考え方を問う。

③ 基本法改定を先取りして県下一斉学力テストが実施されたが、学校間の序列化や成績主義が助長されないか。

答弁
① 民主教育への役割は大きく、法は遵守の立場である。

② 改革も必要だが、国民的議論が必要だ。愛国心通知表は学習評価として不適と思う。や競争激化には留意したい。

③ 現状把握の為で、序列化について

質問

心に病み自殺する人たちへの取り組みについて

質問

教育基本法
改定について

質問

子供たちの
体験学習について

質問

職員の現状と
機構改革について

質問

訪問型子育てサポート事業の
取り組みについて

① 市民サービスの最前線にいる職員の合併後における病気休職等の現状と対策を問う。

② 本庁・支所の業務量を見合う要員配置の統一基準及び今後の機構改革について問う。

① 合併後、心身の故障で休職者は延べ7名、9月1日現在、休職者4名と病気長期休暇中の者が4名である。健康指導、個別相談や定期健康診断等を実施している。

② 合併協定項目により、支所機能を維持するため支所ヘッドワークの情報を活用しながら、他の団体とも意欲的に連携をする。

② 「ふるさと教育」の一環として、一部の学校で実施しているが、更に多くの学校で取り組むよう指導する。

③ 児童・生徒や教員にとつて大きな刺激と地元再発見という意味があると考えている。

答弁

子育て支援サービスの充実

を図る上で、貴重な提言と考える。先進地を参考にしながら実施に向けて検討していく。

① 障害者支援について、福祉サービス利用料の負担について

・パニック障害について

・スクールバスについて

③ ② 不登校について

議会を傍聴しませんか

はまだ市議会だより

平成18年11月1日発行



昭和30年当時の日脚海岸

質問

雇用創出と環境保全活動に係る施策について

道下文男議員

- ① 国から約1億円受託して始まる「地域提案型雇用創造促進事業」が、確実な雇用創出となる様、市の施策を問う。
- ② 地域での豊かな浜辺を蘇らせるべく浜やちびっ子広場等の環境保全への取り組みについて、市の見解を問う。
- ③ 当事業の実施で最大限の効果が生み出せるよう取組む。
- ④ 地域の環境保全活動にはできる限りの支援をする。

その他の質問
子育て支援について、他

答弁

- ① 気象情報システムの充実に併せ、利用技術の高度化を考えていく。
- ② 浜田市水防活動計画に基づき、降雨情報・河川の増水情報を収集する中で、招集連絡体制の確立を図り対応する。
- ③ 浜田市と各消防分団と覚書を交わし、河川管理操作要領により開閉操作することになつてある。警戒・危険水位の表示は大切であり、河川管理者等へは、啓発看板の設置を行つており、引き続き防止に向け取り組みを進める。

質問

平成18年7月豪雨災害の検証について

三浦一雄議員

- ① 地球温暖化問題は、さしつけた緊急課題であるが市長の認識を問う。
- ② 豪雨と判断された時点で消防隊各分団への出動連絡は、どうなっているのか。
- ③ 河川樋門施設の開閉判断が明確になつていない現状をどのように考えているのか。また、警戒・危険水位の表示が出来ないか問う。
- ④ 不法投棄対策の現状と対策を問う。

- ① 二酸化炭素を中心とする温室効果ガスの排出削減に向けて、住民、事業者、行政がそれぞれの立場で、実践できることを継続して取り組んでいくことが重要である。
- ② 本年度は「浜田市地域省エネルギー・ビジョン」策定事業に着手する。
- ③ 投棄されている「ごみ」は、可燃物、不燃物をはじめ軽自動車、冷蔵庫、テレビ、農機具等多様であり、環境保全に対する意識啓発の重要性を認識している。
- ④ 不法投棄が繰り返される場所等へは、啓発看板の設置を行つており、引き続き防止に向け取り組みを進める。

答弁

- ① 田所国府線について
- ② 桜江金城線について
- ③ 浜田八重可部線について
- ④ 今福芸北線について

答弁

- ① 現在有福工区等、4工区で工事が進められており、平成20年代中頃から後半にかけて完成の見込みである。金城町にかけての未改良区間の着手時期については、現在工事中の進捗状況をみながら判断されると伺つてている。
- ② 追原工区の完成時期は平成20年代中頃から後半になる見込である。
- ③ 今福佐野間の一部未改良区間は平成20年代前半の完成見込である。
- ④ 現道拡幅案、バイパス案の両面から概略的に検討が行なわれている段階であり、詳細設計には至っていない。引き続き島根県に対して改良の促進を要望する。

質問

環境問題について

鎌原ヤシユ議員

県道の改良計画と今後の見通しについて

原田義則議員

- ① 地球温暖化問題は、さしつけた緊急課題であるが市長の認識を問う。
- ② 不法投棄対策の現状と対策を問う。
- ① 田所国府線について
- ② 桜江金城線について
- ③ 浜田八重可部線について
- ④ 今福芸北線について

- ① 田所国府線について
- ② 桜江金城線について
- ③ 浜田八重可部線について
- ④ 今福芸北線について

答弁

- ① 浜田医療センターが県の地域ガン診療拠点病院に指定されている。浜田市のガン治療体制について問う。
- ② ガンの早期発見に画期的なPETと呼ばれる最新機器が多くの病院関係者から評価されている。浜田医療センターにPETの導入について市長の所見を問う。

答弁

- ① 県は6つの病院を中心に連携し、各種ガンの精度、高い診断をすすめ、新病院では緩和ケア病棟を整備の予定。
- ② PETはガン早期発見に有効。新病院にはぜひ必要な医療機器であると認識している。実現できる様に努力する。

質問

浜田医療センターにPETの導入について

牛尾博美議員

- ① 県は6つの病院を中心に連携し、各種ガンの精度、高い診断をすすめ、新病院では緩和ケア病棟を整備の予定。
- ② PETはガン早期発見に有効。新病院にはぜひ必要な医療機器であると認識している。実現できる様に努力する。

- ① 県は6つの病院を中心に連携し、各種ガンの精度、高い診断をすすめ、新病院では緩和ケア病棟を整備の予定。
- ② PETはガン早期発見に有効。新病院にはぜひ必要な医療機器であると認識している。実現できる様に努力する。

答弁

- ① 県は6つの病院を中心に連携し、各種ガンの精度、高い診断をすすめ、新病院では緩和ケア病棟を整備の予定。
- ② PETはガン早期発見に有効。新病院にはぜひ必要な医療機器であると認識している。実現できる様に努力する。

答弁

平成18年11月1日発行

はまだ市議会だより

- ① 学童保育について
② 認定こども園について
- ① 他の質問
- ① 事業の選択基準について
② ケーブルテレビの整備、運営について

質問

三浦保法議員

公契約法について

公契約法とは、国や地方公共団体などが発注する建築や土木工事などで、労働者の賃金等を明らかにし、そして確實に末端労働者にまで支払われることを定める法整備を目的とするものである。当市においても建築組合から公契約法制定に向けての動きがあるが、市長の所見を問う。

答弁

今後の制定への取り組みは、国や他の自治体の動向を調査し、議会での議論を踏まえながら対応を検討したい。また、浜田市の取り組みとして、請負契約時に下請け業者や末端労働者の賃金確保等について、『下請けへのしづ寄せ等の防止を徹底するための通知文』を作成し、請負者に指導していく。

質問

山田義喜議員

合併協議はどこまで守られるかについて

事業枠の配分比率は守られるのかと思う。
② 地域振興基金のルールと、自治区長の裁量権はどこまで及ぶのかと思う。

答弁

① 自治区事業だけを縮小することはせず、主要5事業と自治区事業、政策調整枠の事業枠は遵守する。
② 基金の繰替え運用は、借用証書に準じた約定を基金と一緒に立場で裁量権は無い。



利用者が絶えないゴミステーション(江津市)

質問

平石誠議員

資源ごみの収集について

① 24時間持込み可能な資源ゴミ専用のゴミステーションのうち耐震改修助成は24%、
② 収集したペットボトルは昨年までは無償で協会に引き渡していたが、今年度は再生業者に売却することである。どの程度の収入を見込んでいるかと思う。

答弁

① 数年前に計画したが頓挫していた。改めて、設置に向け関係部課で検討する。
② 輸送料を差し引いて120万円程度を見込んでいる。

質問

西村健議員

住宅改修助成制度の創設について

国の助成制度整備により、現在、全国1843市区町村のうち耐震改修助成は24%、耐震診断助成は51%で実施しており、昨年に比べそれぞれ10ポイント、18ポイント増えている。

税法改正により、今年度から、耐震改修家屋に対する固定資産税の減税も始まった。

また、住宅リフォーム助成制度を創設した出雲市では、助成額の16倍から20倍の事業が実施され、大きな経済効果をあげている。地域経済の活性化と防災対策強化の視点で、

耐震改修、耐震診断を含めた住宅改修助成制度を創設する考えはないかと思う。

答弁

20年度までに浜田市耐震改修促進計画を策定する予定であり、その中で助成方針を明確にしたいと考えており、現時点での実施は困難である。

質問

新田勝己議員

食育を通じた子供の健康について

現代は、小学生の時から生活習慣病やその予備軍と言われる子供が増えている。
① 食育基本法に基づく浜田市の取り組みについて問う。
② 学校現場の現状をどう認識しているかについて問う。
③ 改善策や解決の方向性について問う。
④ 給食材料で地元産の品目と数量について問う。

答弁

① 「浜田市食育推進ネットワーク会議」を設置している。
② 給食の残菜が1割ある。「心」の問題も起きている。
③ 「早寝、早起き、朝ごはん」運動を取り組んでいる。
④ 白米は、全部地元産で野菜は3割弱で、魚や豆腐は地元製造である。

- ① 他の質問
- ① 浜田市国民保護協議会の委員の選任
② 元気な集落づくり

委員會審查結果一覽

總務文教委員會

議案番号	件名	議決結果等
議案第122号	浜田市総合振興計画の基本構想について	全会一致 原案可決
議案第123号	浜田市監査委員条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第124号	浜田市立小中学校条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第131号	消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	全会一致 原案可決

福社環境委員会

議案番号	件 名	議決結果等	
議案第125号	浜田市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
議案第126号	浜田市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
議案第127号	浜田市金城高齢者生活福祉センター条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
議案第128号	浜田市旭デイサービスセンター条例及び浜田市三隅デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
議案第129号	浜田市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
議案第144号	浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	全会一致	原案可決
請願 第4号	国の療養病床の廃止・削減計画の中止等の意見書採択等を求める請願について	閉会中の継続審査	

産業経済委員会

議案番号	件名	議決結果等
請願第3号	「品目横断的経営安定対策」にかかる請願について	賛成少数 不採択

建設都市委員會

議案番号	件名	議決結果等
議案第130号	浜田市放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第132号	市道路線の廃止について	全会一致 原案可決
議案第133号	市道路線の認定について	全会一致 原案可決

予算審査特別委員会

議案番号	件 名	議決結果等	
議案第134号	平成18年度浜田市一般会計補正予算（第3号）	全会一致	原案可決
議案第135号	平成18年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決
議案第136号	平成18年度浜田市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致	原案可決
議案第137号	平成18年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計補正予算（第1号）	全会一致	原案可決
議案第138号	平成18年度浜田市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決
議案第139号	平成18年度浜田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決
議案第140号	平成18年度浜田市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致	原案可決
議案第141号	平成18年度浜田市生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決
議案第142号	平成18年度浜田市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決
議案第143号	平成18年度浜田市水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致	原案可決

決算特別委員会

議案番号	件名	議決結果等
認定第1号	平成17年度浜田市歳入歳出決算認定について	閉会中の継続審査
認定第2号	平成17年度浜田市水道事業会計決算認定について	閉会中の継続審査
認定第3号	平成17年度浜田市工業用水道事業会計決算認定について	閉会中の継続審査

■ 陳情審查狀況

件 名	付託委員会	審 査 状 況
県道美川周布線に安全歩道の設置と児童公園の新設を求める陳情書について	建設都市	一部採択(安全歩道の設置について採択)
公契約条例制定を求める意見書提出に関する陳情について	建設都市	継続審査
保育所運営費の一般財源化に反対する国への意見書提出について	福祉環境	採択

議会だより編集委員会

10月1日、浜田市合併一周年の記念式典が開催され、市長は浜田市が名実ともに、県西部の中核都市となるよう全力を傾注すると決意表明をされました。

また、市民憲章と市民歌の披露があり、憲章は高齢者から子ども達にまで理解しやすいことばで、市民の皆さんと明るく豊かなまちづくりを進めようとするもので。また、市民歌の「呼びかけの風」は、浜田の豊かな海や山を歌詞に盛り込んださわやかな歌で、いつもでも口ずさんでいいきたいものです。

そして、「市議会だより」も市民憲章や市民歌のよう、市民の皆さんに読みやすく、身近に感じていただけるように努力していきた